事業所名　　グループホーム照葉

作成日：　　平成　26年　3月　13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設全体での理念はあるがグループホームとしての理念が無い。	グーループホームの役割や意識を踏まえて、地域に密着した独自の理念を作成する。	職員全員で意見を出し合い、当グループホームの理念を作成し、統一した介護感を持ち実践出来るようにする。	1ヶ月
2	4	グループホーム、保険者、地域包括支援センターとの連携が密に取れていない	保険者との接点を密にし、尚一層、サービスの資質向上が図れるようにする。	保険者に2カ月おきに運営推進会議の開催、内容の報告、施設だよりを持参か郵送し、保険者には権利擁護、成年後見人制度など入居者様ご家族様支援に関わる制度利用について情報を共有化、相談し連携を図っていく。	1年間
3	37	施設全体としての備蓄があるがグループホームとしての備蓄が無い。	グループホームでの備蓄を行い、非常時に備える。	備蓄品については入居者様数＋勤務職員数で計算し24人×3日分を準備する。種類はリネン類、オムツ、毛布、タオル、バスタオル、食料品、カセットコンロ、簡易食器、飲料水、レトルト食品、缶詰など。	3ヶ月
4	35	施設全体としての重度化や終末期に伴う指針の説明を行っているが表記内容としては判りにくい。	グループホームとして対応できる内容を判りやすく表記する。	隣接する施設とも協議し、表記内容の検討を行い、見直しを行っていく。	6ヶ月